



「模倣・繰り返し」

生活指導主任 河又 学

あるテレビ番組の一コマです。出演者の一人が、食べた味の感想を述べる時に、

「普通おいしい」

と言っていたのを耳にしました。この場合の「普通」とは、使っている人からすると褒め言葉として使っているようなのです。同じように、「普通にかわいい」「普通に好き」なども、肯定的に捉えていることが多いようです。しかし、どうしてもこれらの言葉遣いには違和感を覚えてしまいます。

山梨大学の中村和彦教授によると、言葉遣いの乱れの原因は、次の3つにあるようです。（一部改）
メディアの影響

テレビ番組で、出演者の配慮の足りない言葉をよく耳にします。真似ることが好きな子供たちは、自分の日常生活に当たり前のように使ってしまいます。

子供をとりまく人々の言葉遣い

電車の中で、「まじ、うざいよね」「うん、むかつく」という親子の会話を耳にしました。本来言葉遣いを正す立場にあるはずの大人が、その役割を果たしていない場面も増えてきました。

テレビゲームの影響

ゲームをしている子供たちの口からは、耳を疑うような言葉が飛び交います。いつの間にかゲームの世界と現実とが入れ代わってしまい、錯覚して使ってしまいます。

また、子供たちの言葉遣いに注意をするべき立場の者として、「親」97.7%、「学級担任の先生」93.4%、「学級担任以外の先生」85.8%というデータもあります。言葉遣いは、「模倣」と「繰り返し」によって築かれていくものなので、子供たちと接する私たち大人が、正しい言葉遣いを理解し、適切に使っていくことが大切であると言えるでしょう。

平素の学校生活において、私たち教職員が子供の「模倣」となる言葉遣いを「繰り返し」発している、子供たちの言語環境を整えられるよう、精一杯取り組んで参ります。

【学校への水筒持参について】

昨年度同様、児童に水道水の飲用を控えさせたいと判断される場合は、水筒を持たせていただいて結構です。期間は、7月6日から運動会終了までといたします。詳細は、後日配布のお知らせをご覧ください。